

2016年度 東海支部 YFE 子供いもの教室 終了報告

5月22日（日）～24（火）にポートメッセなごやで行われた世界鑄造会議（WFC2016）に併催の展示会で、東海 YFE 恒例の子供いもの教室を開催した。今年度は、たくさんの子供と昔子供だった人達に鑄造の楽しさと素晴らしさを感じていただくために、約1年前から準備をし、その結果555人以上というこれまでにない多くの方にいもの作りを体験していただいた。



当日は WFC のキャラクターのシャチホコをモチーフにした木型と種々のキャラクターを3D プリントした樹脂型を計11種類準備し、参加者にはその中から1つを選んで OBB サンドの砂型を造型していただいた。造型の工程を参加者の皆さんに体験していただき、ホワイトメタルの注湯、鑄型のバラしといった熱く危険が伴う作業はスタッフが行った。



日曜は子供だけに整理券を配布する方式としたが、あっという間に満員となった。月曜と火曜は午前付近隣小学校の3、4年生を招待、午後は大人にも体験していただいた。一番人気の型はシャチホコ型で、次いでカンガルー、かめ、飛行機といった3D プリントの型が人気だった。子供たちは注湯、バラし、仕上げといった工程にも興味深々で、金属の種類、金属が溶ける温度、固まる時間などに関する質問も多くあった。



アンケートにより、いもの作りは楽しかった（98%）、一番楽しかった作業は砂を詰める作業（68%）という結果が得られた。子供からは、「またやりたい、他のかたちもつくってみたい」、大人からは「鑄物の基本を知ることができた」という声があった。今後も、子供いもの教室を通じ、鑄造への関心を高める取り組みをしていく。

最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたり多大なご協力をいただきました全国 YFE のスタッフ、岐阜大学、三重大学の学生さん、WFC 展示部会の皆様に厚くお礼申し上げます。

（新東工業株式会社 青木知裕）